

課 題	具体的取組	取組目標	5年間の取組成果	主な実績
		<p>(1)事業の発展可能性、民間ノウハウ導入の可能性等の視点より、大阪市の組織全般にわたり、市役所組織で継続するのか、地方独立行政法人等他の経営形態へ見直すのか検討する</p> <p>(2)経営形態を変更する場合は、理事長等トップはOB職員以外も広く登用する</p> <p>※各局長マニフェストで経営形態の見直しを掲げた事業 市民病院事業・弘済院・環境科学研究所（健康福祉局）、工業研究所（経済局）、中央卸売市場、廃棄物処理事業（環境局）、港湾事業（港湾局）、水道事業（水道局）、博物館施設（ゆとりとみどり振興局）、交通事業（交通局）</p>	<p>り方について検討を行い、今後の方針・方向性を決定し公表することができた。</p>	<p>掲げた各事業の取組実績</p> <ol style="list-style-type: none"> 18年度に方針決定を行い、取組を進めている事業 <ul style="list-style-type: none"> 経営形態を変更し、機能向上を図るもの 工業研究所（地方独法化（20年4月）） 現行の経営形態のもと、経営の改善・効率化に取り組んでいるもの 港湾事業、水道事業 19年度に方針決定を行い、取組を進めている事業 <ul style="list-style-type: none"> 経営形態を変更し、機能向上を図るもの 市民病院事業（地方公営企業法全部適用移行）（21年4月） 現行の経営形態のもと、経営の改善・効率化に取り組んでいるもの 中央卸売市場、地下鉄・バス事業 20年度に方針決定を行い、取組を進めている事業 <ul style="list-style-type: none"> 現行の経営形態のもと、効率化・機能向上に取り組んでいるもの 環境科学研究所 21年度に方針決定を行い、取組を進めている事業 <ul style="list-style-type: none"> 現行の経営形態のもと、効率化・機能向上に取り組んでいるもの 弘済院、廃棄物処理事業（収集・運搬）、博物館施設 22年度に方針決定を行った事業 <ul style="list-style-type: none"> 経営形態を変更し、効率化・機能向上を図るもの 廃棄物処理事業（焼却工場の地方公営企業化）
3 アウトソーシング（外部資源の活用）・民間委託の推進	①事務事業全般にわたる民間委託等の推進	民間委託の考え方を整理し、各部門において全ての事務事業について民間委託等の可能性チェックを行い、局長改革マニフェストにおいて実施時期、実施方法などを明らかにしたうえで、順次実施。	事務事業全般にわたり、民間委託化の検討を行い、実施可能な事務事業から順次、民間委託化を実施することができた。	<ul style="list-style-type: none"> 各局長マニフェストにおいて、事務事業見直しの年度計画を掲載（18年2月） 「大阪市における公共サービスの実施にかかる民間活用の基本的な考え方」を策定（20年3月）

課 題	具体的取組	取組目標	5年間の取組成果	主な実績
		可能性チェックに際しては、外部人材など第三者がその妥当性を点検する。		<p>[主な民間委託化等の実績]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文書通送業務 ・公の施設の管理運営(指定管理者制度) ・公立保育所の運営業務 ・図書館のカウンター業務等 ・病院施設及び小学校の給食調理業務 ・バス営業所の車検整備業務 ・市役所受付案内業務 ・施設の運転管理業務 ・市税の納付督促業務 <p style="text-align: right;">など</p>
4 官民協働(パブリック・プライベート・パートナーシップ=PPP)の推進	①他の法人(大阪府等)との連携	<p>事業分野ごとに他の法人(大阪府、堺市等他の自治体、国の機関等)との連携を検討する</p> <p>※大阪府と大阪市は、地方制度上異なる位置づけ、役割のもと、一定の連携を図ってきたが、府市の行財政を取り巻く厳しい状況の中、都市経営を効率的に実施するため、組織統合も含めた新たな連携について検討する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・府市連携 府市連携協議会の取組を通じて、薬局等の権限移譲の実現や消費者支援施策の府市共同実施など、府市連携の着実な成果をあげることができた。 ・企業誘致 旭硝子(株)、パナソニック(株)の大規模工場の誘致での連携を行うことができた。 ・水道事業 府市水道事業の統合協議については、最終的に白紙となったが、「府知事と市長との意見交換会」など、フルオープン場で徹底した議論を重ねたことで、府の用水供給料金の値下げを可能とすることができた。 ・イベント 「水都大阪 2009」、「上海万博大阪出展」などのイベント開催を府市及び経済界等との連携で開催することができた。 ・他の市町村との連携 21年4月に開設した、「大阪市救急安心センター」を府内市町村と連携し、「救急安心センターおおさか」として対象エリア 	<ul style="list-style-type: none"> ・「府市連携協議会」を4回開催し、薬局等の権限移譲や消費者支援施策の府市共同実施などを 実現 (18年4月～) ・鉄道整備事業について国・大阪府等地方公共団体や民間企業と協働し、おおさか東線(放出～久宝寺間・20年3月開通)、中之島線(20年10月開通)、阪神なんば線開通(21年3月開通)を整備 ・「府知事と市長との意見交換会」を6回開催(20年4月～) ・「府市水道事業統合検証委員会」を設置し、検証結果報告書が市長と府知事に提出された(20年9月～21年1月) ・府等と共同で実行委員会を設立し(平成20年8月)、経済界の協力のもと、「環境先進都市・水都大阪の挑戦」を基本テーマに上海万博へ出展(平成22年5～10月) ・夢洲・咲洲地区の活性化に府市で連携して取り組むため、「夢洲・咲洲地区活性化共同チーム」を発足(22年7月) ・契約業務における府市連携として「物品(災害備蓄用アルファ化米)の共同購入(22年2月・23年1月)及び「入札参加資格登録の共同化(22年2月～)を実施 ・府市水道事業の統合協議については、最